

(7)

一 係

二 結核豫防

三 不慮外傷豫防

四 マラリア豫防

五 凍傷豫防

二 分間休憩

(依覽品護期)

六 省化器傳染病豫防

西 村 軍 醫 中 佐

七 花柳病豫防

服 部 軍 醫 大 尉

八 衛生上ヨリ見タル兵要地誌ノ利用

平 野 軍 醫 少 將

備考 二月九十四日共ニ正十四時ヨリ偕行者會議室ニ於テ實施ス

此ノトス

昭和二十一年度

衛生関係参考書類綴

本都道府県

甲 兵 衛生 153

性交前少量ヲ陰莖ニ塗リテ「サック」ヲ被セズニ「サック」ノ表面ニ少量ヲ塗リ残餘ヲ性交後尿道内ニ塗入セヨ

ハ、用済後速ニ放水及洗滌消毒ヲ行ハ、性交後五分間以内ニ消毒セサレハ消毒ノ効ナシ

ト、歸一醫後醫務室ニ立寄リ處置ヲ乞フ

チ、異常ナル者ハ旦期ニ受診シ徹底的ニ治療ヲ受ケヨ

リ、色萎ノ者ハ花柳病ニ罹リ易キヲ以テ特ニ消毒ヲ嚴重ニ行フ

別調査ニ依
副島隊調査

花柳病ハ身ヲ害シ家庭ヲ壊シ國ヲ亡ス

「軍、性病豫防対策

工精神教育及各種慰身施設等ニ依リ特殊慰安所ニ入ル機會ヲ與ヘサル如クスルヲ第一トス

正傳染ノ虞マル者ハ治療ニ至ル迄内地ニ禁送セス

正性病疑者ハ治療後ト雖モ再発ノ虞ルモノハ其ノ旨現地陸軍病院長ヨリ公身助市町村長ニ通報ス

ニ花柳病ハ主トシテ性交ニ依リ感染シ藝妓船ト全部有志者ナリ依テ性交ノ際ニ六次ノ豫防法ヲ確實ニ實施ス

イ、飲酒後性交シテハナイ

ロ、検査證明書ヲ確メヨ

ハ、性交前サックニ洗滌セシメヨ

一、「サック」ハ必ス使用セヨ

性病患者の調査報告 昭和十四年十一月

区分	計		現役	後種別	年齢別		
	人員数	%				人員数	%
帯進	六二九	一一・六一	七五二	一三・八六	二五歳以下	一八一	三三・四八
召集地	一五三	二・八二	一八三	三・三三	二六歳三歳	一八八	三・四七
戦地	二二七	四・一九	一九三	三・三五	三歳三歳	九六	一・二七
計	三二一	五・八一	八〇八	一四・四九	三六歳以上	七四九	一三・八三
調査人員	五四一	一八・八名	八五	一・五六	計	五四一	一八・八名

注意
性病が如何に戦地に流行するに依りては、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに依りては、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。

注意
性病の役種、如何に戦地に在るに依りては、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。

注意
性病の年齢、如何に戦地に在るに依りては、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。

病名別	延日数		病名別	延日数		病名別	延日数	
	延日数	平均		延日数	平均		延日数	平均
梅毒	九四九	二七・三	梅毒	一三八	四・八四	梅毒	一四九	一・八〇
淋病	六九八	二一・三	淋病	二〇六	五・〇一	淋病	二〇一	二・五四
軟性下疳	五〇九	一五・二七	軟性下疳	五〇九	一五・二七	軟性下疳	二六七	三・六一
計	六九八	二一・三	計	六三七	一八・五五	計	二七六	三・三九
調査人員	七九三	二六・八名	調査人員	一三九	四・一七	調査人員	五四一	一八・八名

注意
性病患者の調査、如何に戦地に在るに依りては、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。

注意
性病患者の調査、如何に戦地に在るに依りては、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。

注意
性病患者の調査、如何に戦地に在るに依りては、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。

国籍別	人員数		国籍別	人員数		国籍別	人員数	
	人員数	%		人員数	%		人員数	%
日本人	一四二	二・六三	日本人	一三六	二・四四	日本人	二六二	四・八四
朝鮮人	二四五	四・五三	朝鮮人	二四五	四・八八	朝鮮人	八七一	一六・〇八
支那人	一五三	二・八三	支那人	一五三	二・八三	支那人	二七二	五・二一
西洋人	一	〇・〇二	西洋人	一	〇・〇二	西洋人	三	〇・〇六
計	五四一	一八・八名	計	五四一	一八・八名	計	五四一	一八・八名

注意
性病患者の調査、如何に戦地に在るに依りては、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。

注意
性病患者の調査、如何に戦地に在るに依りては、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。

注意
性病患者の調査、如何に戦地に在るに依りては、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。又、戦地に在るに注意せしむべきなり。